

東京都市大学

空間生成研究室＋山藤研究室

大沼チーム

「たまっこひろば」 こどもが遊びながら学べるひろば



世田谷の大学特別カリキュラム

| 期間 | 単位設定 | 授業名 | 内容 |
|-------|------|--------------|--|
| 2年生前期 | 必修 | 世田谷プロジェクト(1) | 実習・企画 施設でプログラムを行う。 |
| 2年生後期 | 必修 | 世田谷プロジェクト(2) | 実習・企画 施設でプログラムを行う。 |
| 3年生前期 | 選択 | 世田谷プロジェクト(3) | 実習・企画(企画に重きを置く) 2年生と合同授業で、 施設で2年生のサポート事業を行う。 |
| 3年生後期 | 選択 | 世田谷プロジェクト(4) | 実習・企画(企画に重きを置く) 2年生と合同授業で、 施設で2年生のサポート事業を行う。 |

大学連携プログラム例

「プロジェクション・ダンシング」

東京都市大学(工学部)：映像投影技術

×

日本体育大学：身体のしくみ、動かし方

ひかって鳴って、からだと一緒に動く部屋

共同実施 東京都市大学&日本体育大学

対象年齢 6歳児

①「もっと学んでみたい」向上心を引き出す

②小学校就学後の授業に対する意欲の基盤形成



参加メンバー (敬称略)

チームリーダー：大沼美朝子 (3年) (空間生成研究室)

富谷 亮介 (3年) (空間生成研究室)

内田 灯 (4年) (山藤研究室)

田口 貴昂 (3年) (空間生成研究室)

児島 知也 (4年) (山藤研究室)

梅田 舞佳 (3年) (プロジェクトマネジメント研究室)

指導教員：渡辺 誠(都市生活学部都市生活学科 教授)

山藤 仁(人間科学部児童学科 教授)

「たまっこひろば」

こどもが遊びながら学べるひろば

質のいい子育ての輪の中心となる

子育てプログラムが充実している世田谷区を更に子育ての街として区内外にアピールするこどものための施設
区内の大学の連携のプログラムを通してこども、親・地域の大人が学びながらコミュニティの輪を形成できる



プログラム

1. 世田谷の11大学・学部の力を集結させる

大学生の持つ専門知識・技術を連携・発展させ、未来を担うこども達とともに地域資源として活用する

2. こども、親、大学生、地域住民も使える

平日午前は保育所・幼稚園のこども達が本施設に訪れる。午後はプログラムを設定しない自由解放 土日祝は大学が管運したプログラムを行う

3. 世田谷区は「チームたまっこ」・大学生は授業として参加

世田谷区には管理組織を新設し、そこから保育士などの人材を派遣
各大学はカリキュラムに本施設の活動を組み込み、大学生は授業として参加する

4. 曜日、時間で変化する施設の利用方法

平日午前中のプログラムは曜日ごとに担当する大学が保育所・幼稚園の受け入れを行う
遠足感覚 十大学生の専門知識から生まれた遊び体験ができる 平日午後は保育士・事務員のみ駐在する自由解放、土日祝日は大学の連携によるプログラムで未就学児童から地域の大人まで遊びながら学ぶことができる

5. BOP・児童館・プレーパークとは違う「遊び×学び×発見×創造」

大学の専門知識を生かしたここでしか体験できないプログラムに触れ、普段の学校とは違う学び方が経験できる 分野の違う大学が連携し、毎回違う創造性・発展性のあるプログラム

▶ 午後は小学生が放課後に集まって遊びます。ここでは光と影の部屋。夕暮れ時は光の色も影の長さも変化。自然とおもしろいよ。



◀ 午前中は保育所からおでかけのこども達。施設では日本体育大学の新しい体の動かし方のプログラム。小学生になったらレールのアンカーになれるかな？



◀ 夕暮れから夜。こども達はもうみんなお家に帰った頃。大学生はこどもからの刺激を受けて新しい発想を生みます。夜はどんなおもしろいプログラムが生み出されるのでしょうか？

デザイン・実行

1. アクセスの良いファミリーの街「二子玉川」

電車・バス・車のアクセスが良い また、ライズや高島屋で知名度が高く人気の街であり世田谷区内外の人々にも注目されやすく訪れやすい場所 二子玉川駅のホームからも見渡せる兵庫島公園を敷地とする 自然と目に入るこどもの遊ぶ姿が人々を引きつける

2. 増水対策・こどもの安全第一

本施設は堤防から野川をまたぎ、兵庫島公園に到着するデザイン
浸水していい場所、絶対に浸水しない場所を設計 また、急な天候の変化に対応できるように兵庫島公園から堤防まで簡単にアクセスできる導線確保 こどもでも素早く避難する事ができる

3. 室内でも屋外でも教室でも公園でもない空間

既存のこどものための施設とは全く違う空間を創り、こどもの発見創造の突破口になる運営管理も遊びながらこどもと大学生が中心となって行う

4. 大学の研究機関として利用する事で大幅なコスト削減

光熱費などのランニングコストはソーラーパネル・太陽光浄化槽を使い研究の一環としてコスト0を目指す 他にも空き家を使ったローコスト案もある

「プロジェクション・ダンシング」

ひかって鳴って、からだと一緒に動く部屋
共同実施 東京都立大学・投影技術
日本体育大学・体の動かし方
対象年齢 6歳児



1. 問題提起編

1.概要 2.目的 3.問題提起

欠点転じて最大の魅力となる

1. 日本をとりまく社会問題

少子高齢化 増税 災害復興…

日本における社会問題はいくつもある中で、今回私たちは、少子化に焦点をあてた。

なぜ少子化がおこっているのか

女性の社会進出が大きく関わっている。働くことと子育てとの両立が難しく、子どもを生みにくい環境であることが、現在の日本の現状である。しかし社会進出が悪いわけではなく、どうすれば子育てを両立し易い社会にできるのかを考えることが重要である。

この問題は、私たちの通う世田谷区も同様に抱えている。こどもの環境を改善できるしくみを、世田谷区の職員だけでなく、区に住む人々、また私たち大学生が一体となれば、改善していくことができると思う。

2. 目的

①世田谷区の少子化や、都市化の進展に伴う人口形態の変化から生じる問題に対する提案

②大学を地域コミュニティの中心と考え、自治体等と教育・研究の連携を強化する提案。

都市生活×児童のジョイント

私たちは、東京都市大学等々力キャンパスに属する都市生活学部と人間科学部児童学科がジョイントし、「都市空間・機能」と「こども」という、ふたつの専門領域から「①子育て環境の改善」に焦点を当てる。

また、子育て環境の改善において地域コミュニティの強化が必要と考え、それらを繋ぐ役目として大学と自治体の連携を取り入れる。

3. 問題提起

世田谷区の既存の子育て支援プログラムは他の市区町村に比べて充実している。更に、世田谷区は未就学児童が年間約 1000 人流入しており、全国的に珍しいこどもの増えている地域となっている。つまり、世田谷区は「子育てのしやすい街」と言える。では、何が問題であり、子育て環境の改善につながるのか。大きく 2つのテーマで提起する。

一時的解決か、子育ての質を求めるか

現代の子育てにおける一番の課題は、核家族化や経済不況による夫婦共働きが一般化する中で、子育ての仕事の両立が困難を極めているところにある。この課題は国や各自治体でもたくさんの対策を取っているが、解決は困難である。

近年では、特に都市部の市・区立保育園で待機児童が年々増加しており、対照的に私立幼稚園・保育園などの費用がかさむ施設は定員割れを起こしているという話題が後を絶たない。

なぜ待機児童が多いのか

①就学児童が年間約 1000 人流入している

②保育園の認可レベルが厳しく、増設が難しい

横浜市のように認可のレベルを変更し、保育園をどんどん建てることにより待機児童を無くすという手段もある。

その点で認可の厳しい世田谷区は、一見すると子育てのし難い環境のように見えるが、決してそうではない。

許可レベルが厳しいということは、その分だけ質の高い環境・サービスを提供したいという意思があるということだ。

私たちは、長い時間がかかっても、質の良い子育て環境を着実につくっていく姿勢が世田谷区の魅力であると考えている。

私たちの提案も、世田谷区の特徴をふまえた提案である。

長い期間をもって着実に発展し、地域住民、保育士、教育関係者、学生が一体となった、世田谷が誇れる子育て環境を形成することを目標としている。

こどもも大人もいいこといっぱい 「たまっこひろば」

1. 問題提起編

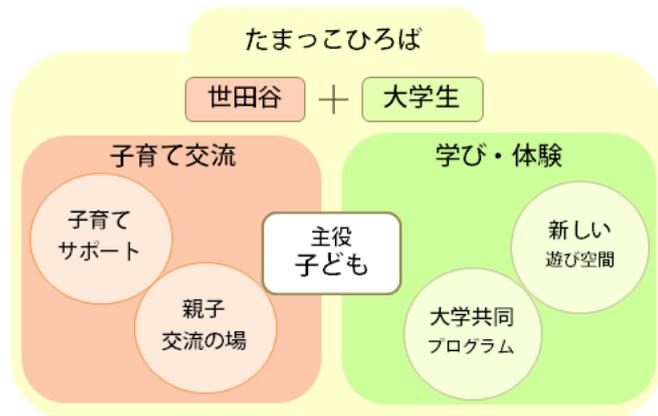
1.提案コンセプト 2.ねらい 3.差別化について

1. こどもが遊びながら学べるひろば

では、長い期間をもって着実に発展し、地域住民、保育士、教育関係者、学生が一体となった、世田谷が誇れる子育て環境を形成するには、どうしたら良いか。

そこで私たちは、大学生が活動の中心となる、こどもの為の施設「たまっこひろば」を提案する。

コンセプト構想図



たまっこひろばには、大きく「子育て交流」「学び・体験」の機能がある。大学生は其中で、学び・体験として、こどものための遊びプログラムや、遊ぶための空間そのものの提案を行う。

2. ねらい

①区全体が「こども」を育てるために

世田谷区の子育て支援プログラムは充実している一方で、区に住む全ての人々、区全体が「こども」を育てるために充実した環境を創ろうというアクションはない。子育ては、子供が生まれた家族だけで済む事が多く一般的な社会に変化してきたが、私たちは、地域が「こども」の成長や安全を支える地域・社会こそが理想であると考えている。

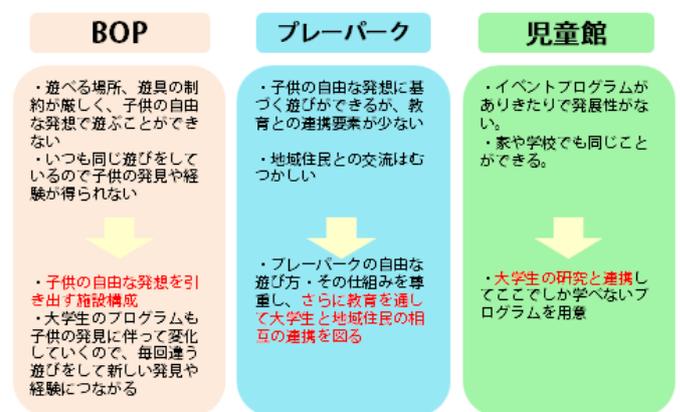
②他の市区町村に住まう人々にも注目されるような今までに無いハードとソフトを持つ施設によって、世田谷区の魅力をアピール

世田谷区の充実した子育て環境を、子育て世代ではない区民にもアピールする事が重要だと考える。アピールする事により、子育て環境の大切さを訴え、自然にその地域や区全体が一眼となって子育て環境の形成に取り組む姿勢が得られる事を望む。

3. 既存プログラムとの違い

こどものための遊び場は、既に数多く存在する。特に世田谷区は他の市区町村が参考にするほど、特徴的な施設や公園がある。その施設とどのような差別化を図るかを述べる。

既存の施設との違い



既存の施設の良さを生かしながら、遊びに加え大学生の専門的な学びを加えることで、こどもだけでなく、その施設に関わる人々それぞれにいいことが生まれる。

こどもを通じて生まれる気づきや発見もある

大学生にとっていいこと

- ・世田谷区に存在する各大学・学部の研究を融合した新しい研究ができる
- ・大学での研究を実践できる
- ・子供からの視点で様々な発見が得られる

こどもにとっていいこと

- ・遊びながら、大学の最先端の研究に触れ、新しい発見・経験ができる
- ・将来の進路選定の選択肢を増やす

地域にとっていいこと

- ・子供・大学生だけでなく地域住民のコミュニティーの中心になる

こどもの為の施設というのは、こどもの為だけではない。大人になるにつれ忘れていた気持ちや、感性を、こども達の行動の端々から思い出したり、発見したりする。それは、教える側、事業を行う側にとっても大きな いいこと ではないだろうか？

たまっこひろば Q&A

(1) Q. 大学のこども向けワークショップと何が違うか

A. 様々な専門分野が融合し、今までにない遊びをつくり出す！

大学ごと、学部ごとのプログラムではなく大学間が連携・協働することで様々な専門分野が融合して今までに無いプログラムを提供できる。それにより、こどもの新しい経験、大学生の研究の発展が望める。

(2) Q. 世田谷区の各施設とはどう違うか

A. BOP との違い：

決められた遊びではなく、毎回違った遊び、新しい発見がある。こども主体で行動ができ、自由な発想ができる。

プレーパーク との違い：

プレーパークの自由でこども主体の良いところを生かし、更に大学生の専門研究から生まれた教育的な遊びを取り入れ、あそびながら学ぶ事ができる。

児童館 との違い：

大学の研究を生かしたここでしか学べない特徴的なプログラムを体験でき、こどもに新しい発見・経験がある。

(3) Q. 世田谷区にはどのようなメリットがあるか

A. この施設を通して、こども・親・大学生・地域住民の交流ができ、地域コミュニティの形成や子育て環境の改善に繋がる。また、この施設・プログラムを創る事で「世田谷区＝東京一のこどもの街」に近づくきっかけになる。

(4) Q. こどもにはどのようなメリットがあるか

A. 遊びながら他には無い大学の専門的な学びに触れるとともに、今後の進路選択に対する興味の幅を広げることができる。また、ここで育ったこどもが大学生になったとき、たまっこひろばにかかわりたくなるような施設をつくり、たまっこがたまっこをそだてるサイクルを作る。

(5) Q. 働くお母さんにはどのようなメリットがあるか

A. 放課後にこどもが安全に過ごせる場所が増える。こどもが大学生や地域の人と繋がりができることで、コミュニティが広がる。

(6) Q. 大学生にはどのようなメリットがあるか

A. 大学・学部間のジョイントで各研究の専門知識を生かしながら新たな研究をする事ができ、今までの研究よりも発展した研究ができる。また、こどもに研究の成果を還元する事で、こども視点からの新たな発見を研究に取り入れられる。

(7) Q. 地域にはどのようなメリットがあるか

A. 地域住民も地域の大学がどのような研究をしているか簡単に知る事ができる。更に、こども・大学生の学びを通して地域住民同士も交流する事ができる。



1. 世田谷区の大学の力を集結させる

- ① 大学が連携することで、生まれるちから
 大学によっては、独自こどもの為のプログラムを行っているが(例えば東京都市大学の「科学体験教室」等)、大学同士の連携は無い。連携し、一体の事業にすることにより、こどもの為のプログラムの規模・質の拡大を図る
- ② 大学生の持つ専門知識・技術を未来の世田谷区を担うこども達と共に地域資源として活用する

世田谷区内の 11 大学 (国士舘大学、駒澤大学、産業能率大学、昭和女子大学、成城大学、多摩美術大学、東京医療保健大学、東京都市大学、東京農業大学、日本女子体育大学、日本体育大学) が連携し、各大学の特色・専門性を活かすと共に、それぞれの分野を交えることで、新たな活動を見出す。(ここで挙げた大学はあくまで創案である)

2. こどもも、大人も、大学生もつかえる

たまっこひろばは保育所・幼稚園のこども達、小学生、ファミリー (未就学児童)、地域住民、そして大学生を対象としている。平日の午前は保育所・幼稚園のこども達が本施設に訪れ、午後は施設を自由開放。土日祝日は各大学が連携したこどもを対象としたプログラムを行う。

事業対象

| 対象 \ 曜日時間 | 平日 | | 土日祝 | 夏期・春期休業期間 |
|--------------|--------------|------|-----------------|---------------------|
| | 午前 | 午後 | | |
| 大学生 | 月1回受け入れプログラム | 任意活動 | 協働プログラム | 特別プログラム |
| 保育所・幼稚園等での利用 | 受け入れプログラム参加 | なし | なし | 利用なし 受け入れプログラム予約 |
| 小学生 | 自由開放 | 利用 | 協働プログラム 自由開放 | 特別プログラム参加 |
| ファミリー(未就学児童) | 自由開放 | 利用 | 協働プログラム 自由開放 | 特別プログラム参加 |
| 地域住民 | 自由開放 | 自由開放 | 自由開放 | 自由開放 |

3. 世田谷区は「チームたまっこ」として、 大学は「世田谷プロジェクト」として協力

世田谷区と世田谷区内の大学 (11 大学) が連携し、本事業を展開させていく。

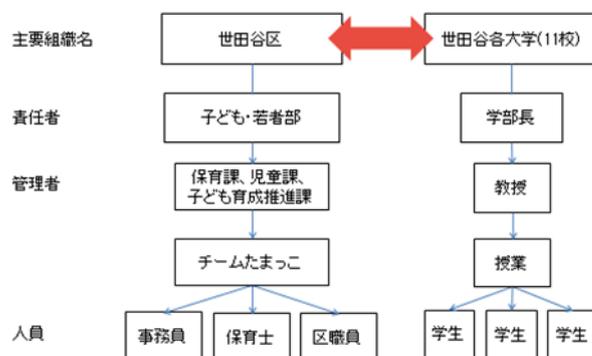
<世田谷区役所>

子ども・若者部を責任者とし、そこから保育科、児童科、子ども育成推進課に加え、新たに「チームたまっこ」という管理組織を設置する。そこから事務員・保育士・区職員等の人員を配属。

<世田谷区内大学>

各大学の学部長を責任者とする。各教授の指導の下、授業として学生が主体となって活動する。

事業内容-組織構成-



大学の授業とするメリットとは

- ① 大学の連携をはかりやすい
- ② 人材の安定した供給のため

授業名を「世田谷プロジェクト(1)(2)(3)(4)」とし、授業形態は、座学、実習の2形態をとる。座学では主に世田谷区の子育てについての理解を深めると共に、大学ごとに月に一度行われる保育所・幼稚園の受け入れに合わせた活動内容の企画をする。

実習では a.受け入れを行った保育所・幼稚園のこども達に企画した活動の実施と、b.土日祝日にこども向けの活動の実施。どちらの活動も大学同士の連携した活動内容とする。

大学生は十人十色。

そこから生まれるアイデアも、様々。

1. 先人の意志受け継いでゆくサイクル

大学カリキュラム化 カリキュラム詳細

| 期間 | 単位設定 | 授業名 | 内容 |
|-------|------|--------------|--|
| 2年生前期 | 必修 | 世田谷プロジェクト(1) | 実習・企画 施設でプログラムを行う。 |
| 2年生後期 | 必修 | 世田谷プロジェクト(2) | 実習・企画 施設でプログラムを行う。 |
| 3年生前期 | 選択 | 世田谷プロジェクト(3) | 実習・企画(企画に重きを置く) 2年生と合同授業で、 施設で2年生のサポート事業を行う。 |
| 3年生後期 | 選択 | 世田谷プロジェクト(4) | 実習・企画(企画に重きを置く) 2年生と合同授業で、 施設で2年生のサポート事業を行う。 |

① 企画提案→実習 を繰り返し、より良い企画を生む

大学2年次の前期・後期、3年次の前期・後期に授業を実施する。2年次は子ども達に向けた活動に取り組み、施設の持つ役割への理解を深めていくため、実習・座学を行い、3年次は実習を行ってきた経験と、自身の大学での専門性を活かし、施設での活動の企画を行う。また、2年生の活動の援助を行っていく。

② 学年を跨ぐ授業により、企画アイデアが洗練される

3年生になるまでに培ってきた経験と、専門性を含んだ企画を先輩である2年生に託すことで、後輩達はただ施設に慣れるための活動としてではなく、先人達の洗練された意志に触れ、受け継いでゆく役割を持つ。

東京都市大学の既存の履修カリキュラムに組み込んでみると、以下のような履修モデルとなる。(水曜日の2限)

大学カリキュラム化 例:東京都市大学

| 授業時間表 | | 授業時間表 | |
|-------|-----|-------|-----|
| 前期 | 水曜日 | 後期 | 水曜日 |
| 1限 | 外国語 | 1限 | 外国語 |
| 2限 | 外国語 | 2限 | 外国語 |
| 3限 | 外国語 | 3限 | 外国語 |
| 4限 | 外国語 | 4限 | 外国語 |
| 5限 | 外国語 | 5限 | 外国語 |
| 6限 | 外国語 | 6限 | 外国語 |
| 7限 | 外国語 | 7限 | 外国語 |
| 8限 | 外国語 | 8限 | 外国語 |
| 9限 | 外国語 | 9限 | 外国語 |
| 10限 | 外国語 | 10限 | 外国語 |
| 11限 | 外国語 | 11限 | 外国語 |
| 12限 | 外国語 | 12限 | 外国語 |
| 13限 | 外国語 | 13限 | 外国語 |
| 14限 | 外国語 | 14限 | 外国語 |
| 15限 | 外国語 | 15限 | 外国語 |
| 16限 | 外国語 | 16限 | 外国語 |
| 17限 | 外国語 | 17限 | 外国語 |
| 18限 | 外国語 | 18限 | 外国語 |
| 19限 | 外国語 | 19限 | 外国語 |
| 20限 | 外国語 | 20限 | 外国語 |
| 21限 | 外国語 | 21限 | 外国語 |
| 22限 | 外国語 | 22限 | 外国語 |
| 23限 | 外国語 | 23限 | 外国語 |
| 24限 | 外国語 | 24限 | 外国語 |
| 25限 | 外国語 | 25限 | 外国語 |
| 26限 | 外国語 | 26限 | 外国語 |
| 27限 | 外国語 | 27限 | 外国語 |
| 28限 | 外国語 | 28限 | 外国語 |
| 29限 | 外国語 | 29限 | 外国語 |
| 30限 | 外国語 | 30限 | 外国語 |
| 31限 | 外国語 | 31限 | 外国語 |
| 32限 | 外国語 | 32限 | 外国語 |
| 33限 | 外国語 | 33限 | 外国語 |
| 34限 | 外国語 | 34限 | 外国語 |
| 35限 | 外国語 | 35限 | 外国語 |
| 36限 | 外国語 | 36限 | 外国語 |
| 37限 | 外国語 | 37限 | 外国語 |
| 38限 | 外国語 | 38限 | 外国語 |
| 39限 | 外国語 | 39限 | 外国語 |
| 40限 | 外国語 | 40限 | 外国語 |
| 41限 | 外国語 | 41限 | 外国語 |
| 42限 | 外国語 | 42限 | 外国語 |
| 43限 | 外国語 | 43限 | 外国語 |
| 44限 | 外国語 | 44限 | 外国語 |
| 45限 | 外国語 | 45限 | 外国語 |
| 46限 | 外国語 | 46限 | 外国語 |
| 47限 | 外国語 | 47限 | 外国語 |
| 48限 | 外国語 | 48限 | 外国語 |
| 49限 | 外国語 | 49限 | 外国語 |
| 50限 | 外国語 | 50限 | 外国語 |
| 51限 | 外国語 | 51限 | 外国語 |
| 52限 | 外国語 | 52限 | 外国語 |
| 53限 | 外国語 | 53限 | 外国語 |
| 54限 | 外国語 | 54限 | 外国語 |
| 55限 | 外国語 | 55限 | 外国語 |
| 56限 | 外国語 | 56限 | 外国語 |
| 57限 | 外国語 | 57限 | 外国語 |
| 58限 | 外国語 | 58限 | 外国語 |
| 59限 | 外国語 | 59限 | 外国語 |
| 60限 | 外国語 | 60限 | 外国語 |
| 61限 | 外国語 | 61限 | 外国語 |
| 62限 | 外国語 | 62限 | 外国語 |
| 63限 | 外国語 | 63限 | 外国語 |
| 64限 | 外国語 | 64限 | 外国語 |
| 65限 | 外国語 | 65限 | 外国語 |
| 66限 | 外国語 | 66限 | 外国語 |
| 67限 | 外国語 | 67限 | 外国語 |
| 68限 | 外国語 | 68限 | 外国語 |
| 69限 | 外国語 | 69限 | 外国語 |
| 70限 | 外国語 | 70限 | 外国語 |
| 71限 | 外国語 | 71限 | 外国語 |
| 72限 | 外国語 | 72限 | 外国語 |
| 73限 | 外国語 | 73限 | 外国語 |
| 74限 | 外国語 | 74限 | 外国語 |
| 75限 | 外国語 | 75限 | 外国語 |
| 76限 | 外国語 | 76限 | 外国語 |
| 77限 | 外国語 | 77限 | 外国語 |
| 78限 | 外国語 | 78限 | 外国語 |
| 79限 | 外国語 | 79限 | 外国語 |
| 80限 | 外国語 | 80限 | 外国語 |
| 81限 | 外国語 | 81限 | 外国語 |
| 82限 | 外国語 | 82限 | 外国語 |
| 83限 | 外国語 | 83限 | 外国語 |
| 84限 | 外国語 | 84限 | 外国語 |
| 85限 | 外国語 | 85限 | 外国語 |
| 86限 | 外国語 | 86限 | 外国語 |
| 87限 | 外国語 | 87限 | 外国語 |
| 88限 | 外国語 | 88限 | 外国語 |
| 89限 | 外国語 | 89限 | 外国語 |
| 90限 | 外国語 | 90限 | 外国語 |
| 91限 | 外国語 | 91限 | 外国語 |
| 92限 | 外国語 | 92限 | 外国語 |
| 93限 | 外国語 | 93限 | 外国語 |
| 94限 | 外国語 | 94限 | 外国語 |
| 95限 | 外国語 | 95限 | 外国語 |
| 96限 | 外国語 | 96限 | 外国語 |
| 97限 | 外国語 | 97限 | 外国語 |
| 98限 | 外国語 | 98限 | 外国語 |
| 99限 | 外国語 | 99限 | 外国語 |
| 100限 | 外国語 | 100限 | 外国語 |

大学生の施設との関わり方

世田谷区内にある11大学16キャンパスの最寄り駅から、本施設の選定敷地、最寄りの二子玉川駅までの所要時間を調査した。最短のもので駒澤大学・玉川キャンパスの0分、最長のもので日本女子体育大学・烏山キャンパスの44分があり、前提で平均すると21.63分であった。

(※大学から最寄り駅への徒歩・バス等の移動時間は含めず、各駅停車を使用した場合のもの)

| 大学名 | 最寄り駅 | 到着駅 | 所要時間 |
|--------------------|---------|-------|------|
| 駒澤大学・玉川キャンパス | 二子玉川駅 | 二子玉川駅 | 0分 |
| 東京農業大学・世田谷キャンパス | 用賀駅 | 二子玉川駅 | 2分 |
| 多摩美術大学・上野毛キャンパス | 上野毛駅 | 二子玉川駅 | 4分 |
| 日本体育大学・東京・世田谷キャンパス | 桜新町駅 | 二子玉川駅 | 4分 |
| 東京都市大学・等々力キャンパス | 等々力駅 | 二子玉川駅 | 5分 |
| 東京都市大学・世田谷キャンパス | 尾山台駅 | 二子玉川駅 | 6分 |
| 国府女子大学 | 三軒茶屋駅 | 二子玉川駅 | 9分 |
| 国学院大学・自由丘キャンパス | 自由丘駅 | 二子玉川駅 | 10分 |
| 駒澤大学・深沢キャンパス | 駒澤大駅 | 二子玉川駅 | 10分 |
| 駒澤大学・駒沢キャンパス | 駒澤大駅 | 二子玉川駅 | 10分 |
| 国士舘大学・世田谷キャンパス | 松陰神社前駅 | 二子玉川駅 | 20分 |
| 東京医療保健大学・世田谷キャンパス | 上町駅 | 二子玉川駅 | 23分 |
| 成城大学 | 成城学園前駅 | 二子玉川駅 | 25分 |
| 日本大学・南千部 | 祖師ヶ谷大蔵駅 | 二子玉川駅 | 31分 |
| 日本大学・文理学部 | 下高井戸駅 | 二子玉川駅 | 35分 |
| 日本女子体育大学・烏山キャンパス | 千歳烏山駅 | 二子玉川駅 | 44分 |



例)駒沢大～都市大ルート

平日に保育所・幼稚園シャトルバスを運行し、それを大学生も共同利用することで、利便性を高める。

2. たまっこひろばでの実習具体案

授業を行うにあたり、学生を①～④のグループに分ける。ひと月のうち、2つのチームは座学を、残りの2つのチームが実習を行う。

<大学生活動チーム>

例)5月

① チームが保育所・幼稚園の受入れの活動

③チームが土日祝の活動

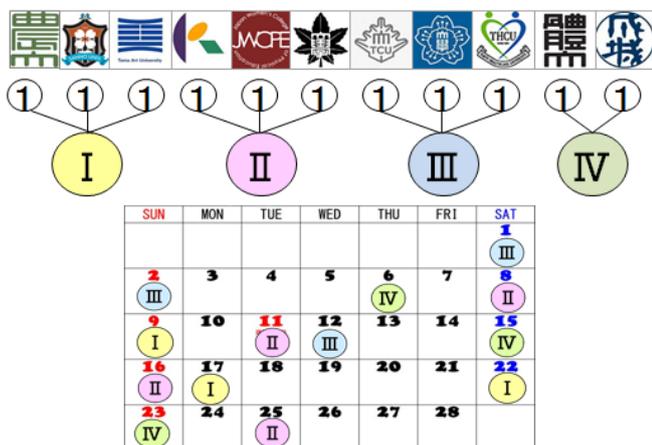
残った②④チームは座学を行う

| 月 | a.幼稚園実習 各大学共同企画 | b.土日祝実習 各大学共同企画 |
|----|--------------------|--------------------|
| 4月 | 準備期間(受け入れ予約期間) | |
| 5月 | ① | ③ |
| 6月 | ② | ④ |
| 7月 | ③ | ① |
| 8月 | ④ | ② |

(※4月は、保育所・幼稚園では子どもたちが園での新しい生活に慣れるための重要な期間のため、受入れは5月からとする。)

大学が組み合わせると どんなあそびが生まれる？

1. 複数の大学で、平日休日それぞれ活動する



各大学における a.保育所・幼稚園の受入れ活動は月に一度とする。受入れのない日は自由開放日とし、保育所・幼稚園と大学間で日程の調整を行う。b.土日祝日の大学共同で行う子供向けの活動は、毎週行うこととする。すると、下記のモデルから解かるように、月に4回の保育所・幼稚園の受入れ活動があること、そして土日祝日には、それぞれの大学が連携したグループによる活動が行われることがわかる。土日祝日に大学同士の活動が行われるため、その準備や打ち合わせをするため、金曜日を定休日とする。

2. 好奇心を沸きたてるあそび

「こどもと学生のインスタレーション」

入りたい、乗りたい、遊びたい！空間をつくってみよう
共同実施 日本体育大学&多摩美術大学
対象年齢 4歳児

「おおむね4歳のこどもは、全身のバランスを取る能力が発達し、体の動きが巧みになる。また、自然など身近な環境に積極的に関わり、様々な物の特性を知り、それらとの関わり方や遊び方を体得していく」（保育所保育指針より抜粋）

- ①空間把握能力や想像力を育てることができる。
 - ②体全体を使うので、自然と全身運動ができる
- 園庭以外の広い空間を自分の思うままにつくること。この経験は4歳児の成長過程において大きな糧となる。



日本体育大学：身体のしくみ、動かし方

×

多摩美術大学：造形、空間生成能力

「プロジェクション・ダンシング」

ひかって鳴って、からだと一緒に動く部屋
共同実施 東京都市大学&日本体育大学
対象年齢 6歳児

「おおむね6歳のこどもは、様々な知識や経験を生かし、創意工夫を重ね、遊びを発展させ、思考力や認識力も高まり、自然事象や社会事象、文字などへの興味や関心も深まっていく」（保育所保育指針より抜粋）

- ①事象・現象への興味関心の高め、「もっと学んでみたい」といった意欲や向上心を引き出す
- ②小学校就学後における、授業に対する意欲の基盤形成



東京都市大学(工学部)：映像投影技術

×

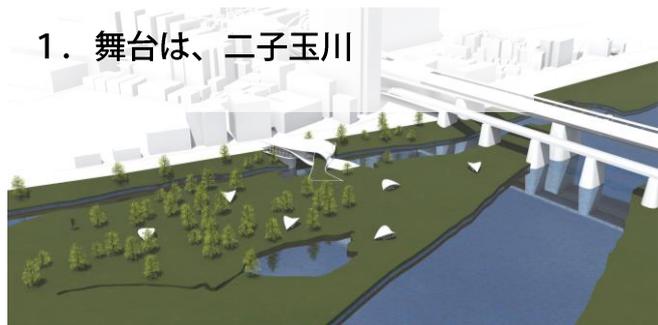
日本体育大学：身体のしくみ、動かし方

2. 実行編

1. 施設敷地 2. 敷地選定理由

二子玉川「たまっこひろば」誕生！

1. 舞台は、二子玉川



敷地名
兵庫島公園
住所
東京都世田谷区
玉川三丁目
管理者
世田谷区

2. なぜ二子玉川を選んだのか

① アクセスの良さを利用

この敷地は二子玉川駅から近く、電車、バス等公共交通の便が良い。子どもにとっても、大学生にとっても訪れるのに便利な場所である。

② 二子玉川というブランドを生かす

世田谷区の中でも知名度が高い街であり、また開発著しい地域であるため、宣伝効果が得られやすい。

③ たまっこひろば自身を広告塔にする

駅のホームや電車内にいると、たまっこひろばが自然と目に入る。人々は子どもたちが何をしているのか興味をもつだろう。大々的な宣伝をせずとも、施設自身が注目を浴びることができる

④ 水と緑とのふれあい、景観の美しさ

多摩川と野川にはさまれたこの敷地では、自然とのふれあいが楽しめるほか、高い建物も無いのでのびのびとした景色を味わえる。

増水対策

場所柄、増水における対策が必然である。

①本部、電子機器等のある部屋は、近隣のマンションと同一の高度につくることで、被害を避ける。



最大増水でのようす→

②陸への通路は広くわかりやすくし、万が一の時の避難を円滑にする



重なりながら連続する 床、天井、壁

1. こどもの遊ぶ姿、声が伝わる 内でもあり外でもある空間

これは、たまっぴひろばにある学びの施設であり、遊具であり、公園です。

外と建物とをはっきり壁で区切らず、曖昧にすることで、自然環境の良さを建物にとりいれます。

この施設のいいところ

① プログラムに合わせた、多様な空間の使い方

例えば学校は、勉強は教室、運動は体育館やグラウンド、実験は理科室、など、目的ごとに部屋が区切られてできています。

しかし、ここで行われるプログラムは、大学生が変われば内容も変わるという、常に変化していくものです。部屋を目的ごとに区切る必要はありません。かえて使いづらくなります。

② 五感をつかって遊ぶ

「いいにおいがしてきた。どこかで料理をしているのかな」
「隣の子がつくっているものは何だろう？」
この施設は外も内も、一階も二階も、ゆるやかにつながっています。音や匂い、人の動きをあちこちから感じることができます。ここでは学校ではありません。隣に目移りしてもいい。自分の興味の向くままに、あちこちに動き回り、楽しむことが目的です。

環境によるゾーニング



↑兵庫島から施設を見上げる

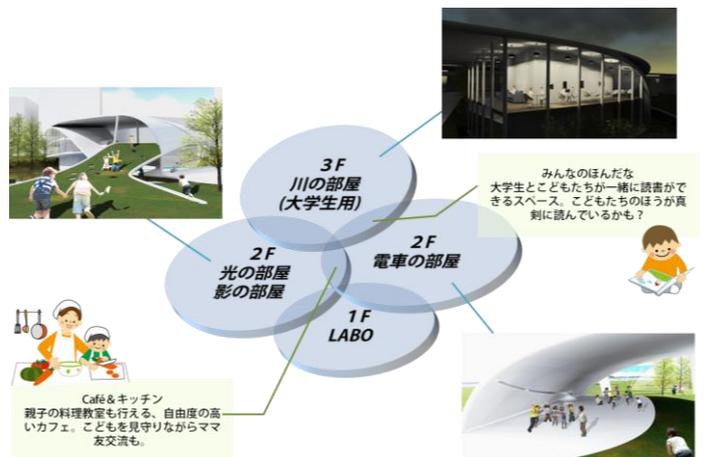
施設にむかってのびる緑の丘が、施設への入り口。導線をはっきりするための他に、施設と敷地のつながりをもたせる役割もある。



↑影の部屋

屋外空間で光と影、風を感じられる場所でありながら、雨のしのげる空間でもある。また、朝、夕方～出される遊ぶしかけのある空間でもある。

重なり合った空間にも機能をもたせる



たまっこひろばをのぞいてみると

3. 実行編

たまっこひろばのとある一日

■ 6月4日(水) AM10:45



今日は東京都市大学附属幼稚園が遊びに来ました。今回の大学共同プログラム担当は東京都市大学と日本体育大学。新しい体を動かすあそびを実践中です。

■ PM15:00



午後、たまっこひろばは自由に開放され、ファミリー、学校帰りの小学生が利用します。

■ PM19:00



大学生たちが集まって話し合いをしています。新しいプログラムを構想しているようです。

たまっこひろばの一年

□ おだやかな春の日差し



天気の良い日は、ゆっくり読書したり、元気に走り回ったり、外で遊ぶには一番快適です。こんな日は、たまっこらばも窓や戸を開け放ち、気持ちよい風を室内にもとりいれます。

□雨がしとしと降る日



とつぜんのお天気雨。ひろばのあちこちにある葉っぱの傘。傘に雨が当たるたびに色んな音を聞かせてくれます。

□日差しが照りつける日



暑い日は、野川で涼やかに。川に入るだけでなく、木陰でせせらぎをきいたり、涼しい風を浴びたりするのもいいでしょう。

プログラムを利用する もうひとつの提案

2. 実行編

1.ファイナンシャル計画 2.低コスト案

1. ファイナンシャル計画(単位:千円)

| | | | |
|--------------|---------|--------|-------------------|
| 初期投資 | | | 備考 |
| (初年度のみ) | 建設費 | 602000 | 建築面積602坪×単価1000/坪 |
| | 設計料 | 60200 | 建設費の10% |
| | 土地代 | 0 | 世田谷区から無償提供 |
| 合計(a) | | 662200 | |
| ランニングコスト | | | 備考 |
| (年間) | 電気代 | 0 | ソーラーパネル研究 |
| | 水道代 | 0 | 川の水の浄化槽研究 |
| | 通信代 | 0 | 各大学の支援 |
| | メンテナンス費 | 0 | 大学・大学生が共同管理 |
| 合計(b) | | 0 | |
| 人件費(年間) | | | 備考 |
| | 保育士 | 12600 | 平均月収210×5人×12ヶ月 |
| | 警備員 | 10560 | 平均月収220×4人×12ヶ月 |
| | 清掃員 | 4320 | 平均年収180×2人×12ヶ月 |
| 合計(c) | | 27480 | |
| 1年目総計(a+b+c) | | 689680 | |
| 2年目以降総計(b+c) | | 27480 | |

資金計画

公費+参加大学の分担

大学のカリキュラムの一環ということで、初期投資は参加大学の分担とする。

各大学の研究、開発を生かす

例)東京都市大学によるソーラー発電、雨水利用

都市生活学部および環境情報学部はソーラーシステム等を研究、利用に積極的である。

このように各大学での研究開発を生かした施設設備やメンテナンスを行う。

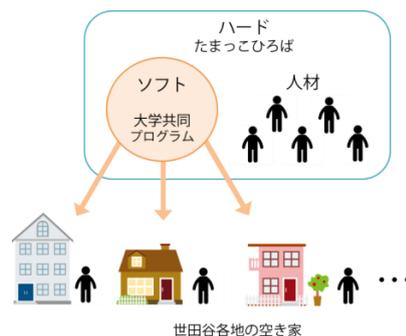


学生の設置したソーラーパネル例

2. 低コスト・即効性重視案

施設を建てる場合、すぐに実現することは難しい。

しかし、ソフトを取り出して、既存の建物を利用して活動を行うことも可能である。ここでは、低コスト・即効性重視案として、空き家を利用した事業を提案する。



空き家を利用する

一般財団法人世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

「地域共生のいえ支援活動」

世田谷には、空き家を地域貢献活動のために利用する取り組みを支援している。そのため空き家は世田谷の各地域で探し出すことができるため、施設を複数に分散させて設置可能。

| | プラス | マイナス |
|-------|---|---|
| 空き家利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域に分散させることで利便性が高まる ・低コスト ・即効性がある | <ul style="list-style-type: none"> ・大学との交流がうすくなる ・施設ごとにプログラムの偏りが生まれる可能性 ・世田谷のシンボル要素は薄い |

10月初頭現在、オーナーとのマッチングによる空き家の提供情報では、2件の情報があがっている。

- ① 田谷区代田5丁目 ②世田谷区桜上水2丁目

この2つの物件は、世田谷区の北部に位置している。



例えば③の世田谷区南部に空き家を確保することができれば、世田谷の各地からのアクセスのバランスのとれる配置となる。